

「野外炊飯」をより子どもたちの達成感や充実感、成長につなげるために

宮城県松島自然の家

① 「野外炊飯」のねらい（2025ガイドブックより）

「火起こしや食材の特徴をしながら野外で調理することで、非常時に役立つスキルを見につける。
また、他と協力しながら調理することで協調性を養い、仲間と食事する楽しさから食へ関心を高める。」

※別ねらいの設定がある場合は、自然の家スタッフにお知らせください。



② 自然の家スタッフが必ず行う安全面と道具の確認について

以下の内容について、野外炊飯活動のはじめに確認いたします。また、どの活動においても避難を要する緊急時は、自然の家スタッフから指示を出します。（身を守る行動、避難場所への避難等）

○野外炊飯棟での注意事項について

刃物（包丁）や火を使用します。野外炊飯棟内では、絶対に走らないこと。また、周囲をよく見て落ち着いて行動してください。包丁の受け渡し場所には、必ず大人がついて受け渡しを行ってください。火を扱う際は、軍手をして、火ばさみを使用してください。班に1つ程度、耐火手袋も貸出しをしています。※ゴム（滑り止め）が付いた軍手は、ゴムの部分が熱で溶けるので危険です。

○道具の確認について

使用する道具の数や破損等についての確認をします。不足や破損等がある場合は、補充・交換後に活動に入ります。

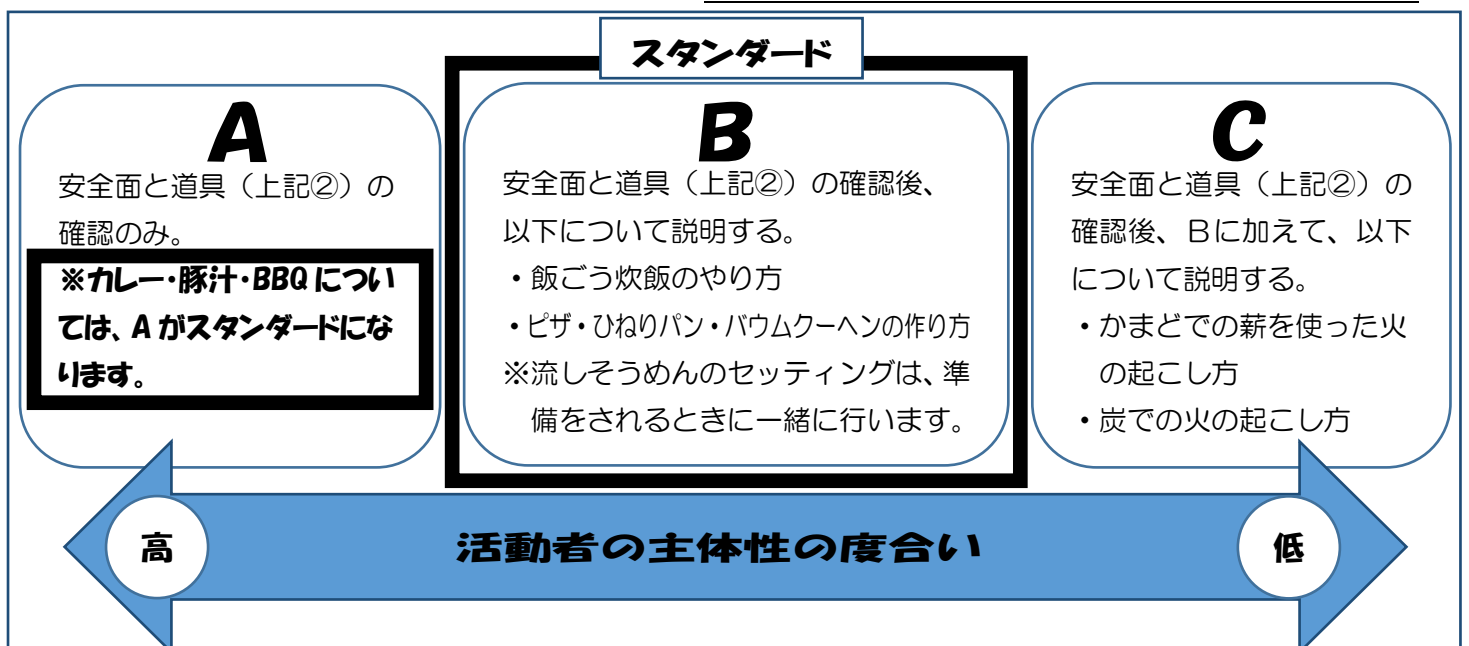
○カラス対策について

食材及び荷物を置きっぱなしにすることがないように注意してください。人がいる場合でも、食材から少し離れたすきに持っていかれてしまう場合があります。また、段ボールやビニール袋に入った荷物もねらわれます。食材や荷物置き場には必ず人がつくか、一時的な保管であれば野外炊飯棟倉庫で管理してください（野外炊飯棟倉庫内に食材等を置く際には、自然の家スタッフにお申し出ください。）。

③ 野外炊飯における自然の家スタッフの説明について

Bが、松島自然の家の支援の在り方としてスタンダードです。A、Cをご希望の場合は、自然の家スタッフまでお知らせください。

※お知らせいただくのは当日で構いませんが、事前に、団体のスタッフさんと共通理解をお願いします。



④ 当日について（野外炊飯と火起こし等について）

“これまでの経験を基に行う”のか、“事前に調べてきたことや資料を基に行う”のか、“説明を受けて行う”のか、進めた方は様々です。大人のはたらきかけによって子どもが活動から得るものが変わります。